

# 学校通信

学校生活における大切なお知らせです

2007年9月20日発行 第53号 (毎月1回発行)

教務からのお知らせ	P4 ~ P5
事務室からのお知らせ	P6 ~ P8
保健室・カウンセリングルームからのお知らせ	P9 ~ P11
生徒支援からのお知らせ	P12
進路支援からのお知らせ	P13 ~ P14
アシストプログラムのお知らせ	P15
9月の聖句	

YMCA学院高等学校

TEL 06(6779)5690 FAX 06(6779)1831 <http://www.ymcagakuin.ac.jp>



## 前期から後期へバトン・タッチ

前期単位認定テストが終了し、生徒のみなさんも少し緊張がほぐれているのではないのでしょうか。今回のテストの時期には、世界陸上あり、皆既月食あり、また少し前にはペルセウス座流星群など、関心のある方には魅力的なショーが続きましたが、はたして、みなさんは落ち着いてテストの準備ができたのでしょうか。少し心配ですね。

さて、そのテスト結果を含む前期に登録された講座の成績報告は、9月21日(金)のホームルームでお渡しします。ホームルームでは、後期の時間割配布や講座登録日時を決めたりもしますので、「教務からのお知らせ」をしっかりと読んでおいてください。ここでは講座登録にあたって、次のポイントを確認しておきましょう。

事前に「開講講座概要」をしっかりと読み講座登録にのぞみましょう。

(「開講講座概要」はホームルームでお渡しします)

このような事前の準備が、前期から後期へのバトン・タッチをスムーズにします。前期の結果を踏まえ、後期を新しい気持ちで迎える。2期制だからできることです。この特徴を利用し後期に備えてください。

ちなみに次回の皆既月食は2010年12月21日のようです。部分的には来年の8月にも月食を見ることができそうです。さあ、みなさんは、次回の皆既月食を誰と何処で見ているのでしょうか。その時は今の自分を思い出してみたいかがです。みなさんにとって、少し懐かしく思える「今」であることを願っています。

## 本校の卒業要件

1. 在籍期間が通算3年以上。
2. 必修科目を含めて74単位以上の修得。  
\* 本校での単位修得にはスクーリング出席合格とレポート課題合格そして単位認定テスト合格が大前提です。
3. 特別活動の出席時間数が30時間以上。

2007年度 大阪YMCA年間聖句

「いつも喜んでいなさい。

絶えず祈りなさい。

どんなことにも感謝しなさい。」

テサロニケの信徒への手紙一 5章 16-18節

Raising strong children and building a loving community  
OSAKA YMCA  Since 1882

# スケジュール

## 予定日程表

日	曜	行事予定など
9 月		
9/25	火	進研マーク模試
26	水	後期講座登録開始（10/3まで実施。ただし、日時は担任との予約が必要）
27	木	進研マーク模試
28	金	
29	土	街美化ボランティア
10 月		
10/1	月	
2	火	
3	水	後期講座登録終了
4	木	大学入試センター試験出願締切
5	金	
6	土	大阪府高等学校定時制通信生徒秋季発表大会
7	日	大阪府高等学校定時制通信生徒秋季発表大会
8	月	（体育の日）
9	火	
10	水	
11	木	YMCA記念日（休館）
12	金	進研模試(10/25)申込締切
13	土	
14	日	
15	月	後期登録講座分、個人時間割・レポート集など発送予定
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	〔学校通信〕発送予定
20	土	講演会「教育を共に考える集い」
21	日	
22	月	後期スクーリング開始
23	火	
24	水	
25	木	進研模試
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	
11 月		
11/3	土	大阪南YMCA主催ファミリーカーニバル

# 教務からのお知らせ

【後期講座の登録】 下記の日程で実施。日時は事前に担任と予約してください。

月 日	9月 26日(水)	9月 27日(木)	10月 1日(月)	10月 2日(火)	10月 3日(水)
対象年次	3年次	3年次	2年次	1・2年次	1・2年次
注意事項	必ず、事前に担任と日時の予約をしてください。予約をしないで来校した場合は、登録することができず、あらためて来校しなければなりません。				

後期の講座登録は上記期間のうち1日、一人10～20分程度で行います。ただし、登録日は年次によって異なり、9月21日(金)のホームルームで、担任と個別面談の日時予約をしています(ホームルームを欠席した場合は、必ず担任と連絡をとってください)。

予約の日時には確実に登校し、〔2007年度後期開講講座の概要〕と〔2007年度後期の時間割〕(いずれもホームルームで配付、欠席者には送付)を見て、あらかじめ選んでおいた学習しようと思う講座について、担任と相談しながら決めて登録します。

## 【レポート集・時間割・教科書の発送】

先になされた講座登録にもとづき、皆さんの届け出住所あてに、個人別時間割・レポート集・バーコードシール・返信用封筒をセットにしたものと教科書が送られます。個人別時間割以下のセットは10月15日(月)に本校から発送する予定です。このセットが届いたら、すべてそろっているか、とくに自分の登録した講座のレポートに間違いがないか、レポート袋の中に全回分入っているか確かめてください。

他方、教科書は教文堂<sup>きょうぶんどう</sup>という書店から送られます\*。入荷の都合や特定の順に発送作業をするなどのため、配達の正確な時期は予告できません。おそくとも10月22日(月)のスクーリング開始までには配達される見込みです。届いた教科書もすべて間違いがないか調べてください。

これらに間違いや不足のものがあつた場合、学校に連絡してください。スクーリング開始後、学校で交換や不足物のお渡しをします。誤送・不足物の申し出期限は、11月9日(金)までで、それを過ぎると再発行または再購入として有料になる場合があります。

\*本校では教科書の受け渡し(販売)のために、教科書販売会社「教文堂」に発送を委託しています。

「教文堂」とは個人情報の管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行っています。

### 【後期のスクーリング開始】

スクーリングは10月22日(月)より始まります。もちろん、個人別時間割にもとづき、同日に受講講座のスクーリングのない人は登校する必要がなく、各自の受講講座が始まる最初の曜日・時限から出席してください。

初回のスクーリングが最初の週からでない講座、また「産業社会と人間」などスクーリング日が不規則な講座もありますから、各自の「個人別時間割」や各講座の「学習計画表」(ほとんどの講座はレポート袋の表紙に印刷してあります)で確かめて、登校・出席してください。

### 【スクーリング時の持ち物】

スクーリングに必要な持ち物は、各講座の学習計画表や案内紙などで確かめてください。美術・書道・ペン習字・暮らしに役立つ書などは用具が初回から必要ですから、1階の売店で購入するなどして準備してください。忘れると、スクーリング出席が認められません。詳しいことはレポート袋に説明書きが入っています。

また、体育の初回は教室での授業ですから、運動の仕度は要りません。

レポート類や教科書が何らかの事情でスクーリングまでに配達されなかったとしても、登録した講座には出席してください。

### 【レポート提出】

各レポート用紙には、バーコード・シール貼付(回数番号に注意)や住所・名前の記入を正確に行い、提出期限を守ってください。多くの講座で、レポートの提出期限は、関連内容のスクーリング日のほぼ1週間後としています(講座により短い場合もあります)。各回の期限に遅れると評価が下がります。出し遅れや再提出の場合でも、最終締め切り日まであきらめずに出しましょう。

### 【制作品の持ち帰りのお願い】

芸術科や家庭科などで制作した作品で、これまで学校で保管されていたものは、HR・後期の講座登録などで登校の機会に、家に持ち帰ってください。10月末までに引き取りのない場合は、個々人に通告することなく処分します。

## 街美化ボランティア

9月29日(土) 16:00から約1時間(雨天決行)

作業のできる軽装で、10分前に1階ロビーに集まってください。その際、警察への届け用紙と学校の参加カードの両方に記名してもらいます。

(特別活動1時間。ただし、遅れたり途中で帰ったときは認定されません。)

### 「YMCAモーニングカフェのご案内」

早起きは三文の得です。ちょっと早起きして「YMCAモーニングカフェ」に来ませんか!みんなで愉快にお話しながらブレイクファーストタイムを過ごしましょう!第1回は2007年11月14日(水)に実施します。詳細は学校通信10月号でお知らせします。なお、特活1時間の認定になります。

# 事務室からのお知らせ

## 【通学割引証の発行について】

本校への通学の際には、交通機関の通学用割引回数券が利用できます。回数券の残数が少なくなったら、「通学割引証申請カード(ケース入り)」を事務室窓口のカード回収ボックスへ提出して「通学割引証」の発行申請をしてください。「通学割引証申請カード(ケース入り)」は毎回申請時に提出が必要ですので大切に保管してください。なお、「通学割引証」の有効期限は一ヶ月です。期限内に駅の発売所で回数券を購入してください。その際必ず「通学割引証」をケースから出し、生徒証明書を提示してください。詳細は、「学務の手引き」30, 31 頁をよく確認してください。なお、京阪電車天満橋駅について、今年度より乗り継ぎ利用が可能になりました。現在の交通経路を変更して天満橋駅を利用希望の場合は申し出てください。

(注意事項) 通学用割引回数券は通学以外の目的による使用や本人以外での使用は認められていません。割引証の申請は年間 20 回までです。割引証の有効期限が切れてしまった場合は事務室で期日を訂正します。お申し出下さい。

## 【通学交通費の割引についてのお知らせ】

講座登録や学習支援プログラム申し込みにより、週 5 日登校することになった生徒に限り、JR および大阪市交通局(地下鉄・バス)の通学定期券を購入できる場合があります(私鉄の各交通機関については通学定期券の利用はできません)。該当する生徒で、通学定期券購入を希望する場合は所定の申込用紙をお渡ししますので、事務室まで申し出てください。

## 【奨学生募集について】

現在募集中の奨学金について期限等を下記の表に記載しています。申込希望の場合は申請書類一式を事務室に請求してください。

種 類	申込書類提出期限
大阪府育英会「特別奨励金」 里親に養育されている又は児童養護施設へ入所していて、大学等へ進学を希望している 3 年次生のみ	10 月 5 日(金)
日本学生支援機構「大学等奨学生予約」 第二種(海外) 平成 20 年度内に海外の大学へ進学を希望している 3 年次生のみ	10 月 15 日(月)

## 【Y M C A 学院高等学校奨学金の募集について】

Y M C A 学院高等学校奨学金は、Y M C A 学院高等学校に在学する生徒で経済的な理由により修学が困難な人で、本校における学業継続の意志が強固な人を対象に、各学期における授業料相当額の 5% から 50% を給付するものです。本奨学金は給付ですので返還の必要はありません。ただし、奨学金の支給総額が決まっていますので、申請されても奨学金の給付ができない場合があることをご了承ください。申込みを希望する場合は下記の詳細を確認のうえ事務室へお申し出ください。

#### Y M C A 学院高等学校奨学金（給付）

（内容） 本校の在學生で、本校での学習継続の意志が固く経済的理由により修学が困難な人  
今回の募集は 2007 年度後期分です。

（給付金額） 授業料相当額の 5% ~ 50% を給付します。

（対象者） \* 経済的な理由により本校での修学が困難な人で、本校での学業継続の意志が強固な人  
\* すでに本校に在学している人については 2007 年度前期の本校での修得単位が 10 単位  
以上ある人（2007 年度後期入学生は全員が対象となります。）

（申込時必要書類）

（1）奨学金給付申請書

（2）前年度の課税総所得を証明できる書類

\* 市民税等の証明書については、平成 19 年度分が必要です。市町村によって異なりますが、  
6 月中に出揃うところが多いようですので、期日までにご準備ください。

\* 生活保護受給世帯、その他特別な事情のある世帯については別途必要書類があります。  
詳細は案内にて確認ください。

（募集案内配布開始日） 9 月 25 日（火）から事務室にて

（申請書学校提出期限） 12 月 5 日（水）17:00 必着

生活保護世帯に属する生徒には、就学に係る費用が高校就学費として保護費から支給されますので、  
授業料額から高校就学費を引いた金額が学校奨学金給付の対象金額となります。

当奨学金の採用状況については、予算の範囲内で、課税状況および家庭状況などから、困窮度の高い  
世帯に属する生徒から順に決定がなされます。したがって近年の社会的経済状況から申請者が増加し  
ており、所得金額の極めて少ない（概ね非課税）世帯に属する生徒が採用されているのが現状です。  
家庭状況が急変するなど奨学金が必要になった場合は、大阪府育英会等の奨学金制度（貸与）の  
緊急採用に応募できますので合わせてお考えください。

#### 【2007 年度教科書・学習書代の給付について】

通信制高校在學生に対しては、文部科学省の「高等学校定時制及通信教育振興奨励費補助金」制度があり、教科書・学習書に対して補助金が給付されます。補助の対象となる教科書・学習書は、文部科学省の検定教科書と、検定教科書を使用する科目の学習書です。申込みを希望する場合は下記にて詳細を確認のうえ事務室へお申し出ください。概要は以下のとおりです。

高等学校定時制及び通信教育振興奨励費補助金制度（教科書・学習書代）

（対象） 定職に就いている人（就労証明書等証明書の添付が必要です）

パート・アルバイトで年間 90 日以上勤務する人

職につく意志はあるが求職活動中の人

（給付金額）文部科学省の検定教科書及び検定教科書を使用する科目の学習書代の全額

（募集案内配布開始日） 9 月 25 日（火）から事務室にて

（申請書学校提出期限） 11 月 1 日（木）17:00 必着

### 【受験に必要な証明書発行手続きについて】

受験に必要な証明書を必要とする場合は、「証明書発行願(受験用)」に記入して原則として下記の(窓口申込)により申し込んでください。特別な事情がある場合には下記(郵送申込)も受け付けます。必ず電話で担任と確認のうえ行ってください。電話・FAXやメールでは申し込みできません。なお、証明書発行までに1週間を要するものもあります。下記の表を確認のうえ日数の余裕を持って手続きしてください。

**窓口申込** 受験予定校の願書・募集要項を持参してHR担任と相談、「証明書発行願(受験用)」を記入のうえ担任確認印をもらってから事務室窓口へ手数料を添えて申し込んでください。(生徒証明書の提示が必要)

**郵送申込** 「学務の手引き巻末の「証明書発行願(受験用)」をコピーして記入・押印し、手数料と返信郵送料の合計料金分の郵便切手を同封して郵送してください。(郵便が事務室に届いた日が受付日となります。発行に日時を要しますので、余裕をもって申し込んでください。)  
**必ず事前に電話で担任と確認のうえ行ってください。**

手 数 料 発 行 日	種 類	申込用紙	通常		英文発行	
			手数料	発行日	手数料	発行日
	成績・単位修得(見込)証明書	証明書発行願 (受験用)	300円	受付から 3日後	300円	受付から 1週間後
	調査書			受付から		
	推薦書		500円	1週間後	1,000円	

返信郵送料	証明書の枚数	郵送料(普通)	速達料金
	1~2通まで	80円	+ 270円
	3~5通まで	90円	
	6~10通まで	140円	

### 【平成19年度大阪府私立高等学校等授業料減免制度について】

大阪府では、大阪府等の私立高等学校に在籍する生徒の学資負担者(大阪府内在住)の方が経済不況に伴う家計急変により授業料の納付が困難になった場合、生徒の修学を保障するために学校に対し補助金を交付(全額または半額)する制度があります。対象となる条件等は下記の通りで、いずれかに該当する場合に限り申請できます。申請については事務室へ申し出てください。制度についての案内と申請書をお渡しいたします。

申請できる条件)

経営状況の悪化に伴う会社の倒産・解雇により失職した場合  
 会社等の経営状況の悪化に伴い収入が前年より著しく減少した場合。

# 保健室・カウンセリングルームからの お知らせ



\* 10月10日は目の愛護デーです

視力の低下や目の疾病(VDT症候群:パソコン、ゲーム機器などのコンピューターを使う作業によって起こる疲れ目、身体、心に影響のする病気)が増えています。長時間のコンピューター等の使用は、眼精疲労をはじめとするさまざまな目のトラブルや、肩こり、頭痛などを引き起こしますので適度に休憩を取るようにしましょう。

## 目の愛護デー

【カウンセリングルーム】

保健室・カウンセリングルーム、及び事務机周辺での食事は禁止です!

\* 後期は11月2日(金)より開室です。

\* 保護者の方もご利用できます。

カウンセリングルームについてのお問い合わせ、ご予約は保健室(後藤)まで。

### <保健室・カウンセリングルーム便り>

<今回は、保健室とカウンセリングルームに関わる方々に前期のまとめとしてコメントを頂きました。>

月曜日担当 石井邦也「光を知る」2007.夏。

私たちの学校は2年間、大阪私学中学高校連盟のカウンセリング研究会の当番校を担ってきました。その役割を終え、今年は次の当番校にバトンをお渡ししました。その第1回の研究会は当番校であるプール学院で持たれました。

プール学院は130年に迫る歴史を持っています。今、改築が進められていますが、既に改築を終えた礼拝堂がその研究会の会場でした。天井も高く落ち着いた礼拝堂の中で、研究会の発足当初に活躍をされた方の講演を聞くことができました。広い敷地、たくさんの生徒を持つプール学院でもあります。150名ほどの吹奏楽部員が、トランペットなどの楽器の練習に励んでいました。改めて、私たちの学校が歴史も規模もとてもこじんまりしていることを感じ、いろんな支えの中で、当番校をやり終えたことを今更ながら感慨深く思いました。

これとは別に、キリスト教主義の学校の結びつきを通してのカウンセリング研究会にも学院高校は参加しています。この6月、京都の同志社中学校でその会合が持たれました。同志社も、130年に迫る歴史を持つ学校です。礼拝堂には新島襄の肖像が掲げられていました。…明確な将来設計・見通しも無いままに、「脱国者」としてアメリカに向かった青年が、日本の教育視察団の通訳としての働きを通し、キリスト教主義の学校の創立に力を注ぐようになった。そんなエピソードをお聞きしその余韻を心に響かせながら、講演を聴いていました。空調設備が無く、両側のステンドグラスの窓は開かれています。ほとんど風を感じません。暑い会場です。5時近くになった頃、夕日に照らされた西側のステンドグラスから、赤や青に色付いた光が差し込んできました。時間が経つにつれその光が中央に居た私の席にも届いてきました。不思議な雰囲気です。早朝なら逆に右側からそんな光が差し込むのだろうか、などと想像したりしました。

国を抜け出した青年が、どんな風に「光」を見つけ続けていったのだろうか。私たちの学院で学ぶ生徒さんたちは、いろんな事情を持ちながらも、どんな風に光を見つけてゆくのだろうか。教育相談、授業、などいろんな出会いを通し、生徒さんに対し、私たちはどのようにそのお手伝いができるのだろうか。…『光は暗闇の中で輝いている』(ヨハネ1章)も思い出されました。ステンドグラスを通し色づいた光を目の前にしながら、透明な光を受けていることが普通である日常の中ではかえって、「光」を見出すことが難しくなることもあるのかな、とったりもしました。また、出会いも、しばしば一瞬の光の中に、色付いて感じるものかな、とも思いました。闇の中で輝く光、光の中で見える光。そんな光を知ってゆく努力を、一層深めてゆきたい。そんな思いに満たされました。そして今も、考えが続いています。

### 水曜日担当 田中俊英「後半もよろしくお願いします」

みなさんこんにちは。水曜日担当の田中です。今年前半は昨年とは異なって、少し静かな水曜カウンセリングルームとなっています。まあ、水曜だけ午前中から14時までという中途半端な時間なので、ある程度仕方ないかもしれませんが、何かお話があればいつでもお越しください。

さて、それはさておき、みなさんは電話通話と携帯メールとパソコンメールをどう使い分けていますか。僕は、用件が少し込み入ると、ついつい電話をかけてしまうのです。でも、携帯時代になった今、携帯に電話をかけてもなかなか一発では通じません。よって、留守電に入れたりするのですが、用件を言うだけなら多くの場合、メールですむわけです。けれども、その用件にいきなり入るよりも、何らかの話でお互いリラックスし、それから用件を伝えたい、と僕は考えます。まあ、外出先にパソコンがあれば丁寧なメールを書くという手もありますが、なかなかそんな状況はない。かといって携帯メールで丁寧なメールは僕にはとても無理です。あのテンキー作業が面倒なのです。だから電話、ということになるのですが、なかなか通じないし、時々うまく伝えられないこともある。

やはりあれでしょうか、若い人はテンキー作業が苦ではないのかな。駅などで、時々ものすごい速度で携帯メールを打つ若者を見かけますし。あと、電話もうざいのかなあ。

メールは便利だけど何かを切り捨てる。電話はメールでは表現しにくいニュアンスを伝えることは可能ですが、つながりにくいし失敗もある。この「失敗」が面倒だからメールを使うんだけど、逆に誤解を生むこともある。それで悩んだりする。人々の悩みの多くはコミュニケーションです。で、コミュニケーションというものは、そもそも「誤解」とは切り離せません。むしろ、コミュニケーションは基本的には「誤解」で溢れていると思うのです。そう考えると僕はなぜか楽になります。電話とメールから、最近よくそんなことを思います。

### 金曜日担当 小嶋美緒「約2年と3ヶ月、お世話になりました」

いきなりこのような題でびっくりされた方もおられると思いますが、この度転職することになり、YMCA 学院高校を去ることになりました。2年と3ヶ月…。長いようで短かったなと感じます。振り返ってみると、本当にあっという間だったと。1年目は『みんなの悩みを聞いて、それについてかっこいい答えを出さなくては…』と気を張って肩が凝ったものでしたが、2年目は『別に悩みを話さなくてもいいじゃない。悩みを話すのは信用している人でないと話せないもの…。まずは皆さんの今の気持ちと向きあうこと』と思い、肩の力を抜くことができました。日々、皆さんのカウンセリングをしながら、学ぶことが多いなあ実感します。今期、私のカウンセリングを受けた人はどう思われましたか？

今年の前期の金曜日のカウンセリングルームは利用される方が少なく、淋しい思いをしました。深刻な悩みを抱えていなくても、暇だと感じた時、誰かに話したくなった時などは是非利用してくださいね。もちろん秘密は厳守するので…。

さて、後期に私はいませんが、YMCA 学院高校で学んだこと、お世話になったこと、そして皆さんのことを忘れません。笑いあり、涙あり(?)の金曜日カウンセリングルームでした。皆さんもたまぁに『ああいう先生もいたな…』と思い出してくれたら嬉しいです。そしてお世話になった先生方、本当にありがとうございました。Thank you so much!

### 養護担当 後藤さやか「“何で？”と“わからない”の先にあるもの」

2007 年度前期の保健室は、利用者もそれほど多くなく、静かでした。でも、体調が悪くなった人・けがをした人の延べ人数には昨年度の前期と比べてあまり変わりはありません。いろいろと推測はしますが、私に余裕が出てきたということにしましょう(^\_^;)。さて、前期の感想です。

保健室にある漫画を読んでいた生徒が、『先生、漫画の女の子って何でみんな可愛いんやろうなあ?』と言いました。保健室での雑談の中で、『何で?』という問いかけ(?)はよくあります。軽いものがほとんどですが、ときにはすごく真剣なものも…。以前は私への質問(先生はどう思う?)だと思っていた私は、「やからと思う」と答えていたのですが、その日は「何でやと思う?」と聞いたら、『うーん、理想やから!』と。「あ、答えが出た!」実際のところ、「想像」と言ったのか「理想」と言ったのかは確かではありませんが、私にとってこれは面白い

発見でした。自分が経験したことはあったけれど、実感として感じられた発見だったのです。それは、“問いかけた人はたいていの場合、その答えを持っている”ということです。本来、漫画の女の子が可愛いことへの答えなんて、どれが正解とかではない問いです。でも、私もその生徒と同じように、漫画は娯楽の一つだから、“こうだったらいいな”という「空想」や「想像」、「理想」で作られているものが多いからだと思います。だから「そうやね、私もそう思うよ」と言いました。でも、違っていてもいいし、同じでなければいけないことでもありません。筆記テストを受けたみなさんにはあまりピンとはこないかもしれないけれど、自分の前にある疑問や問題には、決まった答えがないものの方が多いのではないのでしょうか？だからこそ他人の答えも聞きたくなく、同じでない不安になったりもするのです。ものによっては、“わからない、言いたくない”という答えでもいいんです。いつかはきっと、自分の中で納得のいく答えが見つかるはずですよ。だからまずは、自分の中にある答えを見つけてみましょう。答えはきっと、あなたの中にありますよ。後期も皆さんが健康に毎日を過ごせますように。

#### 保健環境担当 谷口佳江「一日のはじまり」

みなさんは、今日何時に起きましたか？朝の時間はどのように過ごしていますか？「朝の時間」というと、つい最近までは目が覚めてから出かけるまでの時間、そしてほとんど時間がなくあわただしく過ぎていく時間と思っていましたが、最近になって「朝の時間」を見直すようになりました。本や雑誌を読んで、「一日のはじまりを気持ちよく！」と書いてあったからです。しかし、実は毎朝目覚まし時計をセットしておいても、「まだ、寝たい」「まだまだ寝られる」とまどろんでしまいます。結局、5分ごとに目覚まし鳴るので、起きては寝て起きては寝ての繰り返しです。二度寝ってほんとに幸せを感じる時があります。朝の時間って、結局寝てるんかい！と、つっこまれそうですが、なかなか思うようにはいかないものですね。私の妄想の中では、朝は6時には起きて、軽く体を動かし、時間をかけて身支度をして、お弁当を作って、ゆっくりご飯を食べて、そして、まだまだ時間があるので好きな読書や簡単な掃除もできるなと。たまに朝早く起きると一日の時間が長く感じ、得した気分になります。そして、気持ちにも余裕ができます。みなさんも早起き！試してみてくださいか？私も早起きの日（たまには二度寝の日）を作り、気持ちよく一日を過ごしていきたいです。朝の時間を活用して充実した一日を過ごしましょう！今年度から保健室・カウンセリングルーム担当になりました谷口です。よろしくお願いします。

#### 保健環境担当 加志 勉「バランスって大切やね」

人間が生きていく中で欠かせないものは？  
「空気」「息できひんもん！」「衣・食・住」「家庭科で習ったわ！」これも大切です。でも、人間が成長していく中で人との関わりって大切ですよね！人間は一人では生きていけない！「家族」「学校」「会社」「社会」「組織」いろんな場面で人と人との関わりって出てくると思います。そんな人との関わりや友達との関係で大切なのは、「バランス感覚」だと思います。「バランス」と言っても平均台や綱渡りのようにバランスを取るのではなく、駆け引きとしての「バランス」です。片方が押しすぎると片方は、引いてしまう。時には、必要かもしれないけど常に片方が押ししてしまうと、押されたほうがつぶれてしまうのではないのでしょうか？以前私の知っている剣道の先生の話ですが、この先生が実に怖い先生で、小学校低学年の生徒にも見ているほうがかわいそうぐらいに怒ります。その子は、ベソをかきながら聞いています。でも、この先生は、怖いだけではないのです。一緒に遊ぶ時や練習を一生懸命している生徒には、実に楽しそうに、また、心から褒めます。だから、怖いのに生徒に慕われる先生でした。この先生の「バランス感覚」こそ人間関係では必要なのだと思います。ここから信頼関係が生まれるのではないのでしょうか？みなさんもこの「バランス感覚」を磨いていって欲しいと思います。

# 生徒支援からのお知らせ



前期の単位認定テストも終わり、前期最後のホームルームや後期の講座登録が始まります。また、3年次生のみなさんは進路相談などで学校にくる機会も多くなると思います。以前の学校通信でも何度か掲載しましたが、登校したときは校内生活上の決まりをきちんと守ってください。

## 【スクーリングが始まるまでの登校について】

9月21日(金)のホームルームと9月26日(水)より始まる後期の講座登録期間中以外は、生徒のみなさんは学校に登校することはできません。自習室・屋上のスポーツヤードを含めて学校施設を使用することはできません。ただし、証明書発行などで事務室に用事のある人、担任と相談する必要がある人は登校することができます。担任が不在のこともあるので、事前に電話などで約束を取っておくようにしてください。

## 【スクーリングが始まったら】

以前の学校通信などで何回か掲載しましたが、生徒の皆さんの学習環境を守るため、特に守って欲しい部分を以下に掲載します。

自動車・バイク（原付を含む）での通学はできません。

各自の持ち物（特に貴重品）は自分の責任で管理してください。

学校内および学校周辺はすべて禁煙です。

学校として空いている時間（開校時間）は、休日を除く月～金の9:15から17:00です。

開校時間以外は、フリースペースを含め学校施設は利用できません。

また、スクーリング（授業）中の私語などの迷惑行為、学校校舎内（玄関前を含む）および近隣周辺において、場所をわきまえない行動をすることがないように、良識と節度を持った行いをするようこころがけてください。

## 読売新聞に掲載されました

読売新聞にて連載されていましたが「小さいのちの物語」のNo.10(8/4)～No.14(8/10)に、本校に在籍していた森木忠相さんのことが掲載されました。特にNo.12(8/8)においては、本校入学式における写真と共に本校での暮らしが書かれています。記事などをご希望の方はCOPYをお送りしますのでご遠慮なくお申し出ください。また、本校のホームページ <http://www.ymcagakuin.ac.jp> にも掲載していますのでぜひご覧ください。

# 進路支援からのお知らせ

\*3年次進学希望者を対象に進研記述模擬試験を下記のとおり実施します。3年次在籍生は、『進学アシストプログラム』の登録の有無にかかわらず受験できます。大学・短大等の受験を予定している生徒は、模擬試験が今後の受験校選びの資料となります(模擬試験等のデータがなければ受験校選びが困難になります)ので、積極的に受験してください。

受験希望者は、申込書(3階掲示板前にあります)に受験料を添えて、下記申込期限までに事務室受付で申し込んでください。

## 記

<実施日> 10月25日(木)

<時間割> 大学・短大等入試に必要な科目を時間割にあわせて受験すること。

(記述模試ですので、受験教科は最大で、文系 英語・国語・地歴公民・数学、理系 英語・数学・理科です。理系で国語が必要な場合は申し出てください。)

文 系		理 系	
英 語	10:30~12:10(100分)	英 語	10:30~12:10(100分)
登 録	12:10~12:30 (20分)	登 録	12:10~12:30 (20分)
国 語	13:10~14:50(100分)	数 学	A B 13:10~14:50(100分)
地歴公民	15:00~16:00 (60分)		A B C 13:10~15:10(120分)
数 学	15:00~16:40(100分)	理 科	1科目め 15:20~16:20 (60分)
数 学	16:10~17:50(100分)		2科目め 16:30~17:30 (60分)

<試験会場> Y M C A 学院高等学校(教室は当日掲示します)

<受験料> 3,000円

<申込期限> 10月12日(金)

\*9月3日より『大学入試センター試験』の願書(受験案内)を配布しています。受験希望者は、10月4日(木)までに担任の先生または進路支援部松下に願書を提出してください。願書は、高校で取りまとめします。生徒個人での出願はできません(前期卒業生を除く)。なお、9月21日(金)12:25~12:40に出願についてのガイダンスを実施しますので、出願希望者は出席してください。

\*推薦入試等出願にともない『調査書』・『推薦書』等が必要な場合は、早めに申し出てください。担任と相談し、受験校(学科・コース等)を決定した上で、手数料および指定の用紙(有る場合)を添えて発行申込をしてください。受験校が決まっていない場合、発行はできません。発行の流れは、以下のとおりです。なお、発行日は、受付から1週間後です。

担任に相談

受験校の決定

発行願用紙受取・記入

担任確認

事務室受付にて申込

(1週間後)発行

\* 2008 年度指定校推薦入学試験等について、学校通信等で以前より案内していますが、大学・短大・専門学校の一覧は、3 階進路コーナーに掲示しています。必要な生徒は、随時確認してください。なお、受験希望者は、早めに(受験登録締切は出願締切日の 2 週間前)、各担任まで申し出てください。なお、先月の学校通信でお知らせした『指定校推薦入試等依頼校』の追加に加えて、さらに追加がありましたので、お知らせします。

< 指定校推薦入学試験 >

専 門 学 校	評定 基準	最 終 出願締切
大阪医療技術学園専門学校（鍼灸健康美容学科を追加）	3.3	11/30
大阪アニマル&オーシャン専門学校	なし	1/20
ヴェールルージュ美容専門学校（VR トータルビューティ）	なし	定員達次第

\* 高認科目合格者で、本校の相当科目として単位認定を希望する者は、高認の『科目合格通知書』（『科目合格証明書』は不要）の写し(コピー)を所定の申請書に添えて、早めに、担任に提出してください。


## アシストプログラムのお知らせ

\*先月の学校通信でも案内しましたが、後期スクーリングスタートに伴い、『学習アシスト・ルーム』など、様々な『アシストプログラム』が開室・開講されます。今回、『アシストプログラム案内』を同封しました。各プログラムとも、後期からも申し込むことができますので、積極的に登録申込してください。なお、『進学アシストプログラム』は、スクーリング開始前、10月中旬より始まりますので、早めに申込んでください(ファックス可)。また、『学習アシスト・ルーム』については、前期登録者もあらためて申込んでください。

- ・学習アシスト・ルーム：レポート作成のための学習支援を行います。
- ・進学アシストプログラム：3年次対象。進学ガイダンス・個人面談等を通じて、進学・受験の支援を行います。
- ・大学受験アシストゼミ：将来の大学受験に備えた基礎学力の養成を目的としたゼミを、YMCA予備校教員の指導により高等学校で開講します。



# 9月の聖句

「実にキリストはわたしたちの  
平和であります。  
二つのものを一つにし、  
ご自分の肉において   
敵意という隔ての壁を取り壊し。」  
(エフェソの信徒への手紙 2章 24節)

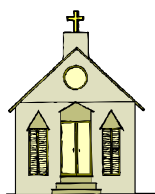
次の言葉についてどのように思われますか？

あいつへんなやつやなー。  
あいつはこうかんがえてるんや。  
あんたはあんたや。

これを英語に直すと

He is a stranger.  
He thinks diferentry.  
You are being.

いむ てびん  
(日本聖公会大阪聖愛教会 任 大彬牧師より)



南YMCA「キリスト教」委員会 2007



## 教育講演会について

テーマ：『不登校・いじめ・ひきこもり-「生きること」と「学校」の関係-』

講 師： 内田 良子(「子ども相談室・モモの部屋」主宰)

日 時： 2007年10月20日(土)14:00～16:00

場 所： YMCA学院高等学校 4Fホール

現在、申込受付しております。